



高齢ドライバーの安全運転のポイント（２）

前回に引き続き、高齢ドライバーの安全運転のポイントを確認していきましょう。今月は原動機付自転車を安全に乗るコツをご紹介します。

気軽な原付でも油断は禁物

原付を安全に乗るコツ

高齢者にとって、原付（原動機付自転車）は行動範囲を広げてくれる手軽な乗り物で、よく利用されています。しかし、不安定なため、ふらついたり転倒する危険があるほか、自動車とは違いボディに囲われていないため、ちょっとした接触や転倒が大ケガにつながります。原付に乗るときは、とくに次の点に注意してください。

- （１）路面の凸凹した箇所を避けて走行しましょう。
- （２）車道の左寄りを走行しましょう。中央寄りの走行は危険です。
- （３）急に道路を横切ってはいけません。また、前方に駐車車両があるとき、急な車線変更はせず、後方をしっかり確認してからにしましょう。
- （４）一時停止の標識がある場所では、必ず一時停止をしましょう。
- （５）大型車と並走するのは見落とされる危険があるので避けましょう。
- （６）二段階右折の指示がある交差点、もしくは片側３車線以上で信号のある交差点では、下図の方法に従って右折しましょう。

●二段階右折をする場所

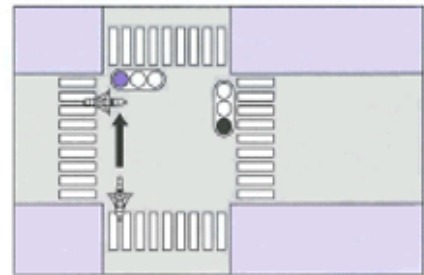
- (i) 右の標識がある交差点
- (ii) 片側３車線以上で信号のある交差点



●二段階右折の方法

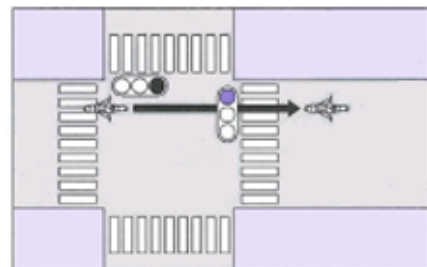
【第一段階】

目の前の信号が青になったら直進し、右に向きを変え、他の交通の邪魔にならないように下がる。



【第二段階】

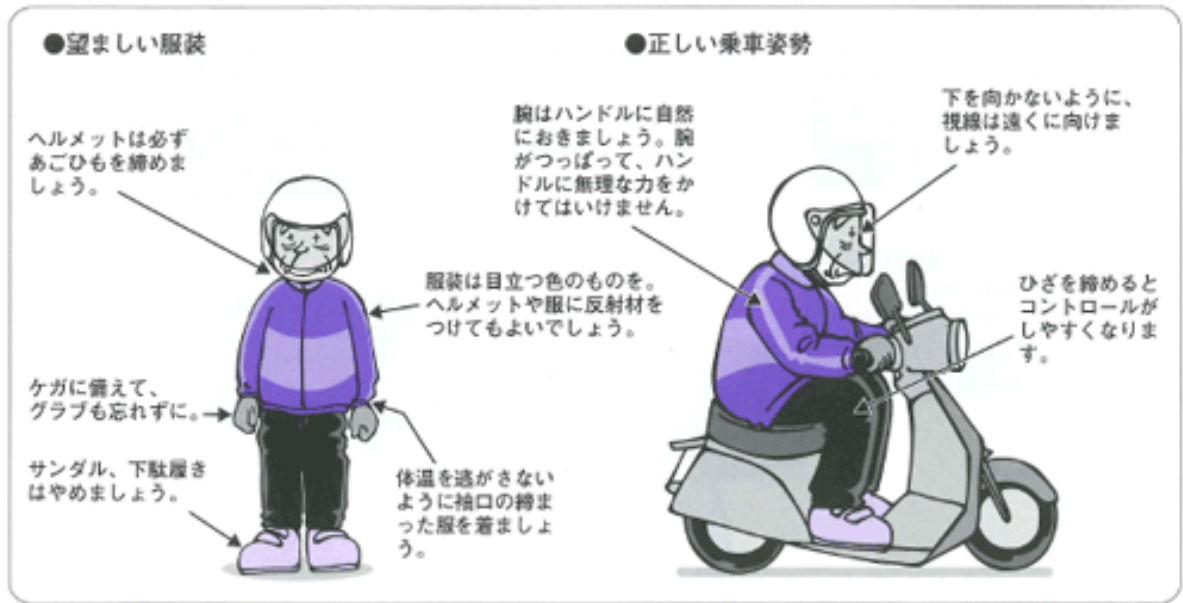
目の前の信号が青になったら直進する。



ただし、片側３車線以上で信号のある交差点でも、右の標識のある交差点では、小回り右折で右折します。



望ましい服装と正しい乗車姿勢



シニアドライバーは、これまでの豊富な経験からつい細かい注意について忘れがちになります。今一度初心に戻って、安全運転を心がけましょう。

(2010年4月作成)